

# 「主をほめよ高らかに」

(歴代誌 I 29:11)

主をほめたたえよ 高らかに

主イエスを

主をほめたたえよ とこしえに

主イエスの名を

主の愛 いつまでも変わらず

全地(ぜんち)を喜びで満たす

主をほめたたえよ 高らかに

184 主の前にひざまずき

主の前に ひざまずき

心から 賛美ささげる

あなたは とこしえに 私の神

## 新聖歌4番 「小羊をば」

- 1 小羊をば ほめたたうる たえなるものの音(ね)  
天(あめ)に聞こゆ いざみ民よ 恵みの主に  
栄えの冠(かむり)を ささげまつれ
- 2 み使いらも うちふすまで わが主の御傷(みきず)は  
てりかがやく いざみ民よ 救いの主に  
栄えの冠(かむり)を ささげまつれ
- 3 戦いやみ 矢さけび絶え 祈りと歌との声はひびく  
いざみ民よ 平和の主に 栄えの冠を ささげまつれ
- 4 空のきわみ地の果てまで みいつの光は照り渡りぬ  
父と共にしらす君に 栄えの冠をささげまつれ アーメン

## 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌260番 「わが胸に響く歌あり」

- 1 わが胸に響く歌あり かつての悪しきしもべが  
心の汚(けが)れ洗われ 喜びもて歌(うと)うなり  
\* 血潮(ちしお)にて洗われし わが身ぞ げにも幸なる  
心の汚(けが)れ洗われ 喜びもて歌(うと)うなり
- 2 よし神の前に行くとも わが身はつゆも恐れじ  
心の汚(けが)れ洗われ きよらの身となりし今  
\* (くりかえし)
- 3 み使いの歌うしらべに わが身の声もとけあわん  
心の汚(けが)れ洗われ 恐れもなく歌(うと)う今  
\* (くりかえし) アーメン

## 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの  
おお みかみに

ときわに たえせず  
みさかえあれ  
みさかえあれ  
アーメン